

テライオンボーテ成分表

水

(超純水) 雑菌・有機物・金属イオンを極限まで取り除いており水道水の約40万倍もの高純度。
水分子が小さく分子が細かいためお肌に浸透しやすい。

トリ (カプリル酸 / カプリン酸) グリセリル

天然ヤシ油から得られるカプリル酸・カプリン酸とグリセリンが結合した保護剤で、
皮膚をなめらかにし、うるおいを保つ働きがある。

スクワラン

イサメや他の深海にすむサメ類の肝油から得られる。
ヒトの皮脂中にも約5%含まれ、コレステロールの先駆物質として知られる代表的な良質オイルである。
感触が非常に良い油で、皮膚刺激はほとんどなく、エモリエント効果に優れている。

シア脂

シアの種子から抽出した脂肪を主体とした脂で、保湿クリームなどに用いられシアバターとも呼ばれる。
ツヤとうるおいを与えながらお肌を保護する効果があり潤滑性・拡散・浸透性に優れている。

B G (1,3 ブチレングリコール) BUTYLENE GLYCOL

アルコールフリーの化粧品メーカーで使われる多価アルコール類でやや粘性のある透明な液体。
刺激性もなく、グリセリンと同様に保湿効果があり乾燥から肌を守る。
抗菌性がある植物エキス抽出剤として広く使われています。

マカデミアナッツ油

オーストラリア原産のマカデミアの種実を圧搾して得られる基礎化粧品などに使用される油脂。
オレイン酸が主成分で、植物油脂には珍しくパルミトレイン酸が多い。
パルミトレイン酸を含有しているので感触に優れ、天然油脂としては珍しく酸化安定性に優れている。

セテアリルアルコール

高級脂肪酸、高級アルコールであるステアリルアルコールとセタノールの混合物。
口紅やクリーム、乳液などに使用され、毒性は弱く皮膚をしっとりしなやかにする。
柔軟性のあるお肌を保つ作用もあり、「滅菌アルコール」とは同義ではない為、
「ノンアルコール」(=「エタノールを含まない」) 表示をしております。

ペンチレングリコール

多価アルコールの一種で、保湿性、抗菌性を有する。
クリーム、乳液、幅広く自然派化粧品等に使用されています。

火成岩

火成岩といっても一種類ではなく、実は見た目の違うものがあります。

火山岩（かざんがん）：マグマが地表付近で急に冷えて固まったもの。

深成岩（しんせいがん）：マグマが地下深くゆっくり冷えて固まったもの。

当商品の火成岩は後者の特定の地域で産出された深成岩を細粉化し、人体への悪影響を及ぼす水銀、ヒ素重金属などを含まない遠赤外線効果とイオン放出量の豊富な鉱石のみを使用。

また、近年の最高技術であるテラヘルツ分光処理を致しておりますので、生命光線と云われる人体にとって有益なテラヘルツ波が、身体のすみずみの細胞に代謝を促すように導入されております。

ティーツリー葉油

オーストラリア南東部原産のティーツリーから採取されるオイル。

先住民アボリジニに古くから薬として利用され、その殺菌成分がかゆみ止めや擦り傷、切り傷などの消毒や治療に役立つと今でも「常備薬」として家庭に置かれている家が多くあります。肌を清潔に保つ働きが強く、香りは、気持ちをリフレッシュします。

加水分解コラーゲン

コラーゲンには水溶性コラーゲンと加水分解コラーゲンとの2種類が存在する。

抽出方法の違いで、加水分解とは塩等を水と反応させて酸と塩基に分解し抽出する方法。

加水分解のほうが分子量が小さく、浸透性が高くなり、コラーゲンをお肌の奥へハリと潤いを与えます。

グリチルリチン酸ジカリウム (グリチルリチン酸 2K)

カンゾウ根から抽出したグリチルリチンのカリウム塩の形にしたグリチルリチンの誘導体。

解毒作用、抗アレルギー、抗消化性潰瘍作用が認められている。

皮膚科領域において、急性や慢性の皮膚炎に対し著しい効果を持つと言われ、副腎皮質ホルモンに比べ作用は緩和で副作用は無い。

アイ葉 / 茎エキス (タデ藍)

藍染に使われるタデ藍から抽出される天然成分で、主に美白作用があるとして美白化粧品に使われている。

また抗炎症、抗シワ作用といった魅力的な効果を持つ成分で、この成分にはシミなどの原因となっているメラニンの生成を抑制するだけでなく、メラニンの生成を助ける物質の生成をも抑制する。大きな美白効果が期待でき安心して使える魅力の成分配合です。

ユキノシタエキス

ユキノシタ科植物のユキノシタの全草から抽出したビタミンエキス。

昔から民間薬として、葉を火にあぶり、はれものや凍傷などに貼布したり、葉を塩でもんで中耳炎や「うるし」のかぶれに貼布したりしていました。

タンニンやフラボノイドなどが多く含まれ、肌あれやにきび予防・しみやしわなどのアンチ・エイジング対策、抗菌作用、消炎作用、活性酸素を消去する働きや美白効果もあることから、高級基礎化粧品に配合されています。

ドクダミエキス

ドクダミの葉や茎から抽出させた日本の代表的薬草エキス。

皮膚の炎症や化膿の治療に使われたり、美容分野では多くの細菌に対しての抗菌作用効果が注目されている。にきびや荒れたお肌の浄化に使われ皮脂分泌を抑えたり、火照りを取る作用もあり、にきびには効果的です。厚生労働省が定めた「日本薬局方」に記載されており十薬とも呼ばれ漢方では解毒作用として使われています。

ベタイン (BETAINE)

アカザ科フダンソウ属の植物、テンサイやサトウダイコンなどから作られる。

保湿効果・帯電防止効果があり各種化粧品に保湿剤や帯電防止剤として配合されます。

手作り化粧品では、グリセリンの代用として使われたり、BG とあわせて使うことで保湿効果を向上させます。

グリコシルトレハロース

とうもろこしデンプン由来の糖質で天然のしっとりするのにべたつかない保湿成分。

細胞の保護や、紫外線による細胞のダメージからお肌を保護し、炎症や肌荒れを抑える効果のある成分です。

加水分解水添デンプン

自然界に最も広く存在しているデンプンを加水分解したもので保湿性に優れ肌に潤護します。

水分保持力に優れているので、しっとり長時間潤いつづけ、乾燥から肌を守ります。

紫外線による細胞のダメージからも肌を保護し、抗炎症、肌荒れ抑制、肌の感触向上として使用されます。

トコフェロール

トコフェロールはビタミンEのこと。

脂質の抗酸化作用により、肌の老化や肌あれの原因となる活性酸素・フリーラジカルを消去したり、過酸化脂質の発生を防ぎます。

皮ふの末梢血管を拡張して血液循環を促進する働きや、皮ふの角化を促進する働きを持ち、

肌あれ防止効果、老化防止効果、くすみを防ぐ効果などを発揮する安全な抗酸化剤として配合されています。

ダイズ油

大豆の種子から得られる天然油脂でリノール酸を 43 ~ 56% 含み、

必須脂肪酸として、人体にとって不可欠な栄養素です。

外用として皮膚に塗布し、刺激を緩和し皮膚表面を保護、乾燥を防止します。

ラウリルカルバミン酸イヌリン

イヌリンは天然に存在する多糖類で、でん粉の次に最も豊富な多糖類。

植物であるチコリの根から抽出される。天然の乳化剤です。

フェノキシエタノール

わずかに芳香のある無色透明、粘調な液体である。

殺菌作用があり、グラム陰性菌に対し特に有効に作用します。

ポリアクリルアミド

水に粘性を与え、その粘度の特性が製品の性状や使用感の調節に応用される。

乳化粒子や顔料粒子の分散安定性を助ける働きを持ち、

パウダーファンデーションなどの粉状化粧品を固形状にするための結合剤として使用しています。

水添ポリイソブテン

主としてイソパラフィンからなる合成の液状油。

化粧品ののびをよくしたり、製品を安定させるために使用しています。

ラウレス-7

天然ヤシ油アルコールの分別蒸留により得られるラウリルアルコールを原料とし、酸化エチレンを付加したもので、非イオン性界面活性剤で、浸透力が強く、湿潤剤、乳化剤、などに広く使われています。